

『普通話三千常用詞表』と『古今小説』

名詞 2

中村 浩一

On Common Words of Modern Chinese in “Gujin Xiaoshuo”

Noun 2

Koichi NAKAMURA

はじめに

教室で中国語を教えていると、教科書に出てくる普通の言葉について、この言葉はいつ現れたのだろうか、どのような意味の変遷があったのだろうかというような疑問を持つことがある。しかし、この問題を解決するには多くの研究を必要とする。

本稿ではその研究のごく小さな一歩として、現代中国語に常用される名詞の『古今小説』における意味、用法を検討したい。

現代中国語の常用語についてはいろいろ検討する必要があるが、本稿ではとりあえず『普通話三千常用詞表』を用いる。また、現代語の資料としては『現代漢語詞典』（『現漢』と略する）を用いる。

『普通話三千常用詞表』にあげてある名詞のなかには語の認定法の違いから『現代漢語詞典』に採録していないものもあるが、必要な場合は他の辞典等を参考にして取りあげた。『普通話三千常用詞表』では名詞を1～30の項目に分けてあるが、本稿では次の5項目を取りあげる。

7. 植物
8. 穀物、野菜、果物
9. 食品
10. 衣服
11. 家、公共の場所

本稿で取りあげる名詞は以下の3項に分けることができる。

A. 『現漢』と異なるもの

『古今小説』における意味範囲と『現代漢語詞典』にあげる意味範囲がまったく異なるか、一部が異なるもの。

B. 『現漢』と同じもの

『古今小説』における意味範囲が『現代漢語詞典』のあげる意味範囲に含まれるもの。

C. 『古今小説』にないもの

『現代漢語詞典』には採録されているが、『古今小説』にはないもの。

テキストは許政揚校訂『古今小説』を用いる。

7. 植物

A. 『現漢』と異なるもの

該当するものなし。

B. 『現漢』と同じもの

1. 草 (わら、草)

『現漢』には「草」と「わら」の意味があげてある。『古今小説』でも同様に用いられている。

(1) 草

其分得人口，不問賢愚，只如奴僕一般，供他驅使，斫柴割草，飼馬牧羊。(8・124)

偶見關房前草深數尺，久不芟除，乃喚小沙彌將鋤去草。(37・551)

(2) わら

賢弟可束草爲人，以彩爲衣，手執器械，焚於墓前。(7・119)

2. 椿樹 (チャンチンの木)

渾家指着樓前一株椿樹道：明年此樹發芽，便盼着官人回也。(1・4)

直到二月初旬，椿樹抽芽，不見些兒動靜。(1・6)

3. 荷花 (はすの花)

歌云：十里荷花九里紅，中間一朵白松松。(12・180)

荷花桂子不勝悲，江介年華憶昔時。(22・326)

4. 菊花 (菊の花)

四海共知霜鬢滿，重陽曾插菊花無？(15・212)

是日蚤起，灑掃草堂，中設母座，傍列範巨卿位，遍插菊花於瓶中，焚信香於座上：(16・241)

5. 梨花 (梨の花)

又怎見得雪似梨花？李易安夫人曾道：行人舞袖拂梨花。(33・487)

這八句詩題雪，那雪下相似三件物事：似鹽，似柳絮，似梨花。(33・487)

6. 柳樹 (しだれ柳)

沈秀獨自一箇，把畫眉挂在柳樹上，叫了一回。(26・392)

一跤倒在柳樹邊，有兩箇時辰不醒人事。(26・392)

這石崇每每將船於柳樹下等，便是一船珍寶，因致敵國之富。(36・526)

7. 梅花 (梅の花)

江南見說好溪山，兄也難時弟也難。可惜梅花各心事，南枝向暖北枝寒。(32・479)

手把梅花，東望憶陶潛。雪似古人人似雪，雖可愛，有人嫌。(33・487)

長空萬里彤雲作，迤邐祥光遍齋閣。未教柳絮舞千毳，先使梅花開數萼。(33・487)

8. 樹 (木)

渾家指着樓前一棵椿樹道：明年此樹發芽，便盼着官人回也。(1・4)

英豪際會皆有用，兒女柔脆空煩勞。種樹莫種垂楊枝，結交莫結輕薄兒：(16・239)

眾僧都來到樹下，掘起那青石來看，只見一條小火赤鏈蛇，(37・552)

9. 樹枝 (木の枝)

當下折些樹枝，假做旗旛，雙雙成對，擺個隊伍，不許混亂。(21・300)

10. 松樹 (松の木)

當時清一見山門外松樹根雪地上，一塊破蓆，放一箇小孩兒在那里，口裏道：(30・446)

不知甚人家，將箇五七個月女孩兒，破衣包着，撇在山門外松樹根頭。(30・447)

11. 桃花 (桃の花)

着眼看時，則見溪邊石壁上，一道瀑布泉流將下來，有數片桃花，浮在水面上。(33・496)

但見：無形無影透人懷，二月桃花被綽開。(20・295)

12. 桃樹 (桃の木)

真人引弟子於峰頭下視，有一桃樹 (13・197)

那桃樹上結下許多桃子，紅得可愛。(13・197)

眾人急覷桃樹上，不見真人蹤跡 (13・198)

13. 梧桐 (あおぎり)

明皇道：前朕聞孟浩然有‘流星澹河漢，疏雨滴梧桐’之句，何其清新！(12・176)

14. 杏花 (あんずの花)

三尺曉垂楊柳岸，一竿斜刺杏花傍。男兒未遂平生志，且樂高歌入醉鄉。(36・532)

15. 葉子 (葉)

趙正走過金梁橋來，去米鋪前撮幾顆紅米，又去菜擔上摘些個葉子，和米和葉子，安在口裏，一處嚼教碎。(36・540)

C. 『古今小説』にないもの

柏樹 (ひのき)、榉子 (くき)、根兒 (根)、桂花 (もくせいの花)、果樹 (果樹)、海棠花 (かいどうの花)、花兒 (花)、槐樹 (えんじゅの木)、莖 (くき)、牡丹 (ぼたんの花)、桑樹 (桑の木)、芍藥 (しゃくやくの花)、藤子 (とう)、杏樹 (あんずの木)、楊樹 (かわ柳)、榆樹 (にれの木)、芽兒 (芽)、月季花 (紅ばらの花)、棗樹 (なつめの木)、枝兒 (枝)、植物 (植物)、種子 (種)、竹子 (竹)

8. 穀物、野菜、果物

A. 『現漢』と異なるもの

該当するものなし。

B. 『現漢』と同じもの

1. 菜

『現漢』には「野菜」と「おかず、料理」の意味があげてある。『古今小説』でも同様に用いられている。

(1) 野菜

趙正走過金梁橋來，去米鋪前撮幾顆紅米，又去菜擔上摘些個葉子，和米和葉子，安在口裏，一處嚼教碎。(36・540)

姑娘收拾一包白米和些瓜菜之類，喚個莊客送公子回去，又囑付道：(2・47)

我帶有燒鵝美酒，與你同喫。你要買時，只覓些魚菜時果足矣。(38・578)

(2) おかず、料理

三巧兒真箇把四碗菜，兩盞酒，分付丫鬟，拿下樓去。(1・18)

有菜沒菜，都不照管。梅氏見不方便，索性討些飯米，堆個土竈自炊來喫。(10・152)

夫人道：我見你說沒有好小菜喫粥，恰好江南一位官人，送得這幾盞瓜菜來，我分兩盞與你。(4・86)

2. 葱(ねぎ)

那女子雖然村妝打扮，頗有幾分姿色：發同漆黑，眼若波明。纖纖十指似栽葱，曲曲雙眉如抹黛。(10・147)

小番鬢邊挑大蒜，岐婆頭上帶生葱。(24・367)

3. 果子(くだもの)

次日，婆子買了些時新果子、鮮鷄、魚、肉之類，喚箇厨子安排停當，裝做兩箇盒子，(1・14)

金奴接了果子並銀兩，母子兩個起身謝道：重蒙見惠，何以剋當！(3・70)

少間，長老上殿誦經畢，入房，閉了房門，將厨開了鎖，放出紅蓮，把飲食與他喫了，又放些果子在厨內，依先鎖了。(30・449)

4. 栗子(栗)

一日，豫州獻二寸五分大栗子，梁主與沈約各默書栗子故事(37・563)

5. 蘿卜(大根)

我與你二兩銀子，你一文價賣生蘿卜，也是經紀人。(36・529)

6. 麻(麻)

種麻還得麻，種豆還得豆；報應本無私，作了還自受。(34・503)

頭帶梔子花匾折孝頭巾，身穿反折縫稀眼粗麻衫，腰係麻繩，足着草履。(40・630)

只見：四道長釘釘，三條麻索縛。兩把刀子舉，一朵紙花搖。(38・585)

7. 藕(れんこん)

歌云：十里荷花九里紅，中間一朵白松松。白蓮則好摸藕喫，紅蓮則好結蓮蓬。(12・180)

正是：旱蓮得雨重生藕，枯木無芽再遇春。(33・494)

8. 石榴 (ざくろ)

看這婦人生得如何？詩曰：獨占陽臺萬點春，石榴裙染碧湘雲。眼前秋水渾無底，絕勝襄王紫玉君。

(19・273)

一枝菡萏瓣初張，相伴葵榴花正芳。似火石榴雖可愛，爭如翠蓋芰荷香？(30・449)

9. 水果 (くだもの)

遂使小黃門田香兒，以紫玉軟絲同心結兒一奩，並合歡水果，盛以金泥小盒，密封遺公主。(37・568)

10. 蒜 (にんにく)

小番鬢邊挑大蒜，岐婆頭上帶生葱。漢兒誰負一張琴，女們儘敲三棒鼓。(24・367)

11. 甜瓜 (まくわうり)

只見大伯子去到籬園根中，去那雪裏面，用手取出一個甜瓜來。(33・490)

那甜瓜藤蔓枝葉都在上面。(33・490)

見韋諫議，道：可煞作怪！大雪中如何種得這甜瓜？(33・490)

你們做老拙傳話諫議，道張公教送這瓜來。眾人接了甜瓜。(33・490)

12. 櫻桃 (さくらんぼ)

那弄珠兒生得如何？目如秋水，眉似遠山。小口櫻桃，細腰楊柳。妖艷不數太真，輕盈勝如飛燕。

(6・107)

C. 【古今小説】にないもの

白菜 (白菜)、白薯 (さつまいも)、萆薢 (みずくわい)、菠菜 (ほうれん草)、扁豆 (いんげん豆)、蠶豆 (そら豆)、大豆 (大豆)、大麥 (大麦)、稻子 (稲)、豆角 (ごがつささげ)、豆芽兒 (もやし)、豆子 (豆)、冬瓜 (とうがん)、番茄 (トマト)、甘薯 (さつまいも)、甘蔗 (さとうきび)、高粱 (こうりゃん)、穀子 (穀物)、瓜子兒 (すいか、かぼちゃ等のたね)、核桃 (くるみ)、花生 (落花生)、黃豆 (黄色い大豆)、黃瓜 (きゅうり)、韭菜 (にら)、橘子 (みかん)、梨 (なし)、落花生 (落花生)、辣椒 (とうがらし)、麥子 (麦)、綠豆 (綠豆)、馬鈴薯 (じゃがいも)、蘑菇 (きのこ)、南瓜 (かぼちゃ)、蘋果 (りんご)、葡萄 (ぶどう)、茄子 (なす)、芹菜 (せり)、青菜 (やさい)、青椒 (青いとうがらし)、柿子 (柿)、筍 (竹の子)、桃兒 (桃)、土豆兒 (じゃがいも)、豌豆 (えんどう)、西瓜 (すいか)、西紅柿 (トマト)、香蕉 (バナナ)、向日葵 (ひまわり)、小麥 (小麦)、杏兒 (あんず)、玉米 (とうもろこし)、玉蜀黍 (とうもろこし)、芋頭 (さといも)、棗兒 (なつめ)、芝麻 (ごま)、竹筍 (竹の子)、莊稼 (農作物)

9. 食品

A. 【現漢】と異なるもの

1. 點心

【現漢】には「おかし」の意味があげられている。【古今小説】では「(飲酒時の)肴」や「簡単な

食べ物（‘小喫’）」の意味で用いられている。

自家在酒肆中喫了三杯，用了些點心，又到薛婆門首打聽，只是未回。(1・14)

許多衣裳着了，再入城里，去桑家瓦裏，閑走一回，買酒買點心喫了，走出瓦子外面來。(36・541)

門前一個婦女，玉井欄手巾勒着腰，叫道：客長，喫饅頭點心去。(36・537)

五鼓時，夫人教丫鬟催促起身梳洗，用些茶湯點心之類。(2・46)

金奴起身，分付安排點心。吳山道：我身子不快，不要點心。(3・75)

思溫不見三兒在秦樓，心下越悶，鬍亂買些點心喫，便問小王道：(24・371)

當日是日中前後，員外自入去裏面，白湯泡冷飯喫點心，兩個主管在門前數見錢。(36・528)

看看日沒黃昏，李萬腹中餓極了，看見間壁有個點心店兒，不免脫下布衫，抵當幾文錢的火燒來喫。(40・630)

2. 饅頭（饅頭）

【現漢】には「マントウ」という意味があげてあり、方言として「饅頭（‘包子’）」の用法があるとしている。【古今小説】では「饅頭」の意味で用いられている。

趙正喫了藥，將兩隻箸一撥，撥開饅頭餡，看了一看，便道：(36・538)

他家住汴河岸上，賣人肉饅頭。(36・537)

呂公一場沒趣，敢怒而不敢言。正是：羊肉饅頭沒的喫，空教惹得一身騷。(1・29)

侯興老婆道：着！揸個碟子，盛了五個饅頭，就竈頭合兒裏多撮些物料在裏面。(36・538)

趙正喫了藥，將兩只箸一撥，撥開饅頭餡，看了一看，便道：(36・538)

趙正道：嫂嫂，買五個饅頭來。(36・537)

門前一個婦女，玉井欄手巾勒着腰，叫道：客長，喫饅頭點心去。(36・537)

門前牌兒上寫着：本行侯家，上等饅頭點心。(36・537)

3. 湯

【現漢】では語素として「お湯」の意味をあげているが、語としては‘米湯’‘麵湯’等の「汁」、「スープ」、「せんじ薬」の意味をあげている。【古今小説】では「汁」、「スープ」、「せんじ薬」の用法はみられず、すべて「お湯」の意味で用いられている。

又燒下一桶熱湯，替他洗滌臭穢。(13・196)

劬隨即挽人請醫用藥調治，蚤晚湯水粥食，劬自供給。(16・240)

却說這玉通禪師教老道人燒湯：我要洗浴。(29・431)

那婦人又將大磁盞盛着滾湯，放在桌上，道：(22・328)

婦人道：喫晚飯了未？任珪道：喫了，只要些湯洗脚。(38・578)

當日是日中前後，員外自入去里面，白湯泡冷飯喫點心，兩個主管在門前數見錢。(36・528)

一路行來，聞氏與沈小霞寸步不離，茶湯飯食，都親自搬取。(40・625)

4. 煙

【現漢】では「煙」、「(植物の)タバコ」、「(喫煙用の)タバコ」の意味があげられている。【古今小説】では「煙」の意味のみに用いられている。

須臾之間，忽見江中風浪俱生，煙濤並起，異魚出沒，怪獸掀波，(24・381)

如今送入離宮，聽取山頌畢，茶毗之次，見火中一道青煙，直透雲端，煙中顯出圓澤全身本相，合掌向空而去。(30・444)

將刀放在桶內，籠兒挂在擔上，也不去褚家堂做生活，一道煙徑走。(26・392)

B. 『現漢』と同じもの

1. 茶(茶)

說罷，恰好晴雲討茶上來，兩箇喫了。(1・12)

又喫了一杯茶，金奴留喫午飯，吳山道：我耽閣長久，不喫飯了。(3・67)

這兩包粗果，送與姐姐泡茶；銀子三兩，權助搬屋之費。(3・70)

眾人入去喫茶，一個老子上竈點茶。(36・531)

2. 醋(酢)

你道事有湊巧，物有偶然，正所謂：喫食少添鹽醋，不是去處休去。(38・579)

心知是胡氏，便指定了他，說道：借得此位小娘子甚好。唐氏正在喫醋，巴不得送他遠遠離身。(22・330)

這個計策，就在這朵花上，後來便見。有詩爲證：喫醋捻酸從古有，覆宗絕嗣甘出醜。(22・330)

3. 飯

『現漢』には「穀類の煮たもの」、「めし」、「食事」の意味があげてある。『古今小説』では次のように用いられている。

(1) めし

看你沒飯在鍋裏時節，有那箇好朋友，把一斗五升來資助你？(39・594)

是日蚤起，灑掃草堂，中設母座，傍列範巨卿位，遍插菊花於瓶中，焚信香於座上，呼弟宰鷄炊飯，以待巨卿。(16・241)

有些磨壞的去處，再把些飯兒粘得硬硬的，墨兒塗得黑黑的。(2・48)

(2) 食事

梁媽媽正留着侄兒在房中喫飯，婆子向前相見，把老園公言語細細述了。(2・42)

你只一位，却容易答應。但是用酒用飯，只管分付老漢就是。(5・98)

便在樓下叫道：我肚飢了，要飯喫！(38・574)

回寓喫了飯，就到相府門前守候。(9・138)

4. 醬

『現漢』には語素として「ペースト状のもの」、語として「みそ」の意味があげられている。

『古今小説』ではともに語として用いられている。

(1) みそ

九月後，霜裏方熟。土人採之，醞釀成醬。先進王家，誠爲珍味。這個是盜出來賣的，事已露了。(19・275)

(2) ペースト状のもの

一日某在江邊玩賞，忽傳天使到來，呂娘娘懿旨，賜某肉醬一瓶。(31·468)

小廝進到艙裏，問奶奶取錢買醬。李氏說：這醬不要買他的，買了有口舌。(19·275)

揭開罐子看時，這醬端的香氣就噴出來，顏色就如紅瑪瑙一般可愛；喫些在口里，且是甜美得好。(19·275)

5. 酒 (酒)

三巧兒真箇把四碗菜，兩壺酒，分付丫鬟，拿下樓去。(1·18)

當夜兩個耍笑飲酒。(1·18)

吳山就同主管走到軒子下，已安排齊整，無非魚、肉、酒、果之類。(3·67)

說罷，便斟酒去勸那婦人。約莫半酣，婆子又把酒去勸兩個丫鬟，說道：(1·18)

6. 糧 (食糧)

角哀曰：若如此，弟情願解衣與兄穿了，兄可賣糧去，弟寧死於此。(7·116)

伯桃曰：吾尋思無計，賢弟勿自誤了，速穿此衣服，負糧前去，我只在此守死。(7·116)

呂文煥死守襄陽五年，聲援不通，城中糧儘，力不能支，只得以城降元。(22·345)

7. 糧食 (食糧)

又過幾日，陳大郎雇下船隻，裝載糧食完備，又來與婦人作別。(1·21)

8. 米 (米)

這一日魯公子恰好到他家借米去了，只有個燒火的白發婆婆在家。(2·42)

姑娘收拾一包白米和些瓜菜之類，喚個莊客送公子回去，又囑付道：(2·47)

趙正走過金梁橋來，去米鋪前撮幾顆紅米，又去菜擔上摘些個葉子，和米和葉子，安在口里，一處嚼教碎。(36·540)

9. 燒餅 (シャオピン)

忽然丈人家門開，走出春梅，叫住王公。將錢買燒餅。(38·581)

原來這兩箇正在床上狂蕩，聽得王公敲竹筒，喚起春梅買燒餅，房門都不開，桌上燈尚明。(38·582)

只見賣燒餅的王公，挑着燒餅擔兒，手裏敲着小小竹筒過來。(38·581)

10. 糖 (砂糖)

袖中取出燒鵝肉，兩人喫了，解帶脫衣上床。如糖似蜜，如膠似漆，恁意顛鸞倒鳳，出於分外綢繆。(38·574)

說不儘百計討探，湊成來十分機巧。假饒心似鐵，弄得意如糖。(23·358)

11. 晚飯 (夕食)

三巧兒又取出大銀鍾來，勸了幾鍾，又陪他喫了晚飯，說道：(1·14)

到晚，兩箇喫了晚飯。(30·448)

喫了晚飯，梁公梁婆二人下樓去睡了。(38·578)

12. 午飯 (昼食)

又喫了一杯茶，金奴留喫午飯，吳山道：我耽閣長久，不喫飯了。(3·67)

等了許久，回店去喫了些午飯，又來守候，絕無動靜。(9·141)

一日午飯後，又去看那軸子。(10・157)

13. 羊肉 (羊の肉)

呂公一場沒趣，敢怒而不敢言。正是：羊肉饅頭沒的喫，空教惹得一身騷。(1・29)

14. 油 (油)

家中只有個老母，自家賣油爲生。(2・38)

明日燒個利市，把來做販油的本錢，不強似賒別人的油賣？(2・38)

15. 早飯 (朝食)

到初四日早飯過後，暖雪下樓小解，忽聽得街上當當的敲響。(1・6)

次日，長老起來，與眾人喫了早飯，就與楊公、李氏作別，又分付李氏道：(19・274)

次日，安排蚤飯已罷。(11・166)

16. 粥 (かゆ)

夫人道：我見你說沒有好小菜喫粥，恰好江南一位官人，送得這幾盞瓜菜來，我分兩盞與你。(4・86)

若是雨雪時，沒處叫化，團頭却熬些稀粥，養活這夥乞丐，破衣破襖，也是團頭照管。(27・407)

清一依言，抱到千佛殿後，一帶三間四椽平屋房中，放些火，在火圍內烘他，取些粥喂了。(30・447)

只聽得宋四公裏面叫起來道：我自頭風發，教你買三文粥來，你兀自不肯。(36・531)

C. 【古今小説】にないもの

白糖 (白砂糖)、包子 (パオツ)、氷棍兒 (アイスクャンデー)、餅乾 (ビスケット)、茶葉 (茶の葉)、大米 (米)、豆腐 (豆腐)、豆油 (大豆油)、飯 (ごはん)、粉條 (はるさめ)、蛋糕 (ケーキ)、蜂蜜 (蜂蜜)、乾飯 (めし)、高粱米 (こうりゃんの実)、糕 (カオ)、花卷兒 (春巻き)、花生油 (落花生油)、紅糖 (赤砂糖)、餛飩 (ワンタン)、夥食 (食事)、鷄蛋 (卵)、鷄子兒 (卵)、醬油 (醬油)、餃子 (ぎょうざ)、開水 (お湯)、糠 (ぬか)、烙餅 (ラオピン)、面 (こな、うどん)、面包 (パン)、面粉 (小麦粉)、面條 (うどん)、牛奶 (牛乳)、牛肉 (謬肉)、啤酒 (ビール)、汽水 (サイダー)、肉 (肉)、窩頭 (ウォトウ)、稀飯 (かゆ)、香煙、(タバコ)、香油 (ごま油)、小米 (粟)、鴨蛋 (あひるの卵)、玉米面 (とうもろこしの粉) 豬肉 (豚肉)、

10. 衣服

A. 【現漢】と異なるもの

該当するものなし。

B. 【現漢】と同じもの

1. 背心 (チョッキ)

那勇士背心上繡成‘榮陽’二字。(22・343)

讓一步過去，出其不意，從背心上狠的一拳，將董四仰倒，急叫道：(39・608)

2. 布 (木綿の布)

一日，聽得門前喧嚷，在壁縫張看時，只見一個賣布的客人，頭上帶一頂新孝頭巾，身穿舊布制道袍(2・55)

存下幾百匹布，不曾發脫，急切要投個主兒，情願讓些價錢。(2·55)

梁尚賓看了布樣，又到布船上去翻復細看，口裏只誇：好布，好布！(2·55)

3. 草鞋 (わらじ)

方才朦朧睡着，夢見歸去，到鹹陽縣家中，見當直王吉在門前一壁脫下草鞋洗脚。(35·513)

4. 汗衫 (肌着)

見王秀的老婆，唱個喏了道：公公教我歸來，問婆婆取主領新布衫、汗衫、褲子、新鞋襪，有金絲罐在這裏表照。(36·541)

5. 褲子 (ズボン)

見王秀的老婆，唱個喏了道：公公教我歸來，問婆婆取一領新布衫、汗衫、褲子、新鞋襪，有金絲罐在這裏表照。(36·541)

6. 帽子 (帽子)

吳山除下帽子，正欲拔時，被小婦人一手按住吳山頭髮，一手撥了金簪就便起身道：(3·65)

大尹騎着馬，恰待入宣德門去，只見一個人裹頂彎角帽子，着上一領皂衫，攔着馬前，唱個大喏，道：(36·543)

叫起五六十個乞丐，一齊奔到金老人家裏來。但見：開花帽子，打結衫兒。舊蓆片對着破甃條，短竹根配着缺糙碗。(27·409)

7. 衫兒 (上着)

這件衫兒，是蔣門祖傳之物，暑天若穿了他，清涼透骨。(1·21)

婦人就將衫兒親手與漢子穿下，叫丫鬟開了門戶，親自送他出門，(1·22)

便把三巧兒相好之情，告訴了一遍。扯着衫兒看了，眼淚汪汪道：此衫是他所贈。(1·23)

陳大郎早起要穿時，不見了衫兒，與老婆取討。平氏那里肯認。(1·27)

老婆平氏心知這衫兒來得蹊蹺，等丈夫睡着，悄悄的偷去，藏在天花板上。(1·27)

8. 絲 (糸)

主管相叫罷，將日逐賣絲的銀子帳來算了一回。(3·70)

當時八老去，就出良山門到灰橋市上絲鋪裏見主管。(3·71)

9. 頭巾 (頭巾)

那小的真個去說道：王公，你看頭巾上。(36·541)

郭大郎取下頭巾，除了一條鑿糟臭油邊子來，教王婆把去做回定。(15·225)

趙正道：小哥，與你五文錢，你看那賣酸餡王公頭巾上一堆虫蟻屎，你去說與他，不要道我說。(36·541)

原來趙正見王秀入茶坊去揩那頭巾，等他眼慢，拿在袖子裏便行，一徑走往侯興家去。(36·541)

10. 鞋 (靴)

早飯都喫過了，方才起身，把道袍、鞋、襪慢慢的逐件搬將出來，無非要延捱時刻，誤其美事。(2·47)

舜美認得是女子脫下之鞋，不敢開聲。(23·361)

11. 袖子 (袖)

【現漢】では「袖」として‘袖’‘袖子’‘秀兒’をあげ、‘袖’には「袖に入れる」という動詞の用法もあるとしている。これらの用法は【古今小説】でも同じである。

(1) 袖 (袖)

秦檜將此事與之商議，王氏向袖中，摸出黃柑一只，雙手劈開，將一半奉與丈夫，說道：(32・476)

(2) 袖 (袖に入れる)

却說鍾明、鍾亮在衙中早飯過了，袖了幾錠銀子，再到戚漢老家來。(21・305)

(3) 袖子 (袖)

興哥不忿，一把扯他袖子要搜。何期去得勢重，將老兒拖翻在地，跌下便不做聲。(1・31)

柳府尹大喜，教人去堂中取小小墨漆盒兒一個，將白布衫袖子放在盒內，上面用封皮封了。(29・432)

原來趙正見王秀入茶坊去揩那頭巾，等他眼慢，拿在袖子裏便行，一徑走往侯興家去。(36・541)

洪恭見小老婆執意不肯，又怕二程等久，只得發箇狠，灑脫袖子，徑奔出茶坊來。(39・594)

(4) 袖兒 (袖)

張遠在袖兒里摸出兩錠銀子，放在香桌上道：(4・85)

牽住他衣袖兒，捻起拳頭，一連七八個栗暴，打得頭皮都青腫了。(10・153)

12. 衣服 (服)

三巧兒先脫了衣服，床上去了，叫道：你老人家快睡罷。(1・20)

到次日，陳大郎穿了一身齊整衣服，取上三四百兩銀子，放在個大皮匣內(1・10)

興哥祭過了父親靈位，換去粗麻衣服，再央媒人王家去說，方才依允。(1・3)

婆子把甜話兒偎他，又把利害話兒嚇他，又教主母賞他幾件衣服(1・29)

13. 衣裳 (服)

左伯桃冒雨蕩風，行了一日，衣裳都沾濕了。(7・115)

婆子不知是計，收了金絲罐，取出許多衣裳，分付趙正。(36・541)

去山野處除了花朵，溪水里洗了面，換一套男子衣裳着了，取一頂單青紗頭巾裹了。(36・537)

侯興也會水，來得遲些個。趙正先走上岸，脫下衣裳擠教幹。(36・540)

趙正入那浴室里洗面，一道烘衣裳。(36・540)

C. 【古今小説】にないもの

便帽 (ふだんの帽子)、布鞋 (もめんの布靴)、草帽 (麦わら帽子)、長袍 (あわせ)、綢子 (絹織物)、大衣 (オーバー)、帶子 (帯)、緞子 (しゅず)、縫 (縫い目)、紅領巾 (赤いネッカチーフ)、夾襖 (あわせの長上着)、膠鞋 (ゴム靴)、口袋兒 (ポケット)、扣子 (ボタン)、褲叉兒 (半ズボン)、裏兒 (裏地)、禮帽 (礼服の時にかぶる帽子)、領子 (えり)、毛絨 (毛糸)、毛衣 (セーター)、毛巾 (タオル)、棉襖 (綿入れの上着)、棉布 (綿布)、棉紗 (綿糸)、棉絮 (綿くず)、面兒 (表地)、呢子 (毛織物)、鈕扣 (ボタン)、皮帶 (皮のベルト)、皮鞋 (革靴)、裙子 (スカート)、襯衫 (ワイシャツ)、手絹兒 (カンカチ)、手套 (手袋)、襪子 (靴下)、圍巾 (マフラー)、西服 (洋服)、靴子 (長ぐつ)、雨衣 (レインコート)

11. 住宅、公共の場所

A. 「現漢」と異なるもの

1. 房子(家)

【現漢】では「(建物としての)家」の意味をあげている。【古今小説】では「家」のほかに「部屋」という意味でも用いられている。

(1) 家

過了一宿，次早沈鍊起身，向賈石說道：我要尋所房子，安頓老小，有煩捨人指引。(40・616)

到明朝，興哥領了一夥人，趕到薛婆家裏，打得他雪片相似，只饒他拆了房子。(1・26)

賈石道：要什麼樣的房子？沈鍊道：只象宅上這一所，下分足意了，租價但憑尊教(40・616)

夏天負土運石，汗流不止，怨嘆道：“同是一般父母所生，那住房子的，何等安樂？(18・256)

住的有好房子，種的有好田園，穿的有好衣，喫的有好食；(27・407)

(2) 部屋

平氏被逼不過，只得別賃下一間房子住了。(1・29)

却說有箇工部鄒主事，聞知柳翠翠豐姿貌美，聰明秀麗，去問本府討了，另買一間房子(29・435)

學曾扶柩回家，守制三年，家事愈加消乏，止存下幾間破房子，連口食都不周了。(2・41)

B. 「現漢」と同じもの

1. 處(場所)

常言道：‘一品官，二品客。’做客的那一處沒有風花雪月？只苦了家中娘子。(1・18)

曾聞古人裴度還帶積德，你今日原到拾銀之處，看有甚人來尋，便引來還他原物，也是一番陰德(2・39)

乃看准了桃樹之處，攪身望下便跳。(13・197)

大官人，老身且不敢稱謝，你且說甚麼買賣，用着老身之處？(1・9)

2. 窗子(窓)

這一日被丫頭們攔擦不過，只得從邊廂裏走過前樓，分付推開窗子，把簾兒放下，三口兒在簾內觀看。(1・6)

那間禪房關著門，一派是大榻窗子，房中挂著一碗琉璃燈，明明亮亮。(29・430)

3. 大門(正門)

薛婆便把大門關上，請他到小閣兒坐着，問道：大官人有何分付？(1・8)

叫家童與他亂打那配軍出去，把大門閉了，不要惹這閑是非，嚴府知道不是當要。(40・631)

也不應他，開了大門，拽上了，趁星光之下，直望候潮門來。(38・579)

只見一所空宅，門生蛛網，戶積塵埃，荒草盈階，綠苔滿地，鎖着大門。(24・373)

張公只不答應，挑着擔子，徑入門歇下，轉身關上大門，道：(26・393)

4. 飯店

【現漢】には「大型の旅館」、「料理屋」の意味があげられている。【古今小説】では「旅館」の意

味で用いられている。古くは旅館でも食事を提供していた。

張千道：雖然如此，到飯店安歇行李，我守住小娘子在店上，你緊跟着同去，萬無一失。(40・626)

兩個一頭說話，飛奔出城，復到飯店中來。(40・631)

5. 房屋 (家屋)

去新橋五里地名灰橋市上，新造一所房屋，令子吳山，再撥主管幫扶，也好開一個鋪。(3・63)

這鋪中房屋，只占得門面，裏頭房屋都是空的。(3・64)

那房屋却是兩間六椽的樓屋，金奴只占得一間做房，(3・67)

二人收了，作別回家，便造房屋，買農具家生。(26・396)

乃于在城白馬廟前，賃一間房屋，三口兒搬來住下。(29・434)

6. 墳墓 (墓)

到了三歲，小姐對母親說，欲待領了孩兒，到阮家拜見公婆，就去看看阮三墳墓。(4・92)

一個也不追薦丈夫，一個也不看顧墳墓。倚窗携手，惆悵論心。(24・379)

思厚只得依從所說，募土工人等，同往掘開墳墓，取出鄭夫人骨匣，到揚子江邊，拋放水中。(24・380)

備下祭奠，拜告兩家墳墓。(8・132)

7. 花園 (花園)

假公子別了夫人，出了後花園門，一頭走一頭想道：(2・46)

彼此通道寒溫已畢，請到花園裏廳上赴宴。(19・280)

二人隨後，也入里面去，只見打鬼淨淨的一卒敗落花園。(24・374)

迤邐間行了數里田地，雪中見一座花園，但見：(33・489)

8. 井 (井戸)

真人將環投於井中，謂神女曰：能得此環者，應吾夙命，吾即納之。(13・200)

十二神女要取神環，爭先解衣入井。真人遂書符投於井中，約曰：(13・200)

這樞密院官都是怕事的，只曉得臨渴掘井，那會得未焚徒薪？(39・591)

9. 樓 (2階建て以上の建物)

這個樓是兗州城中最高之外，葛令公引着一班姬妾，登樓玩賞。(6・107)

自從那日丈夫分付了，果然數月之內，目不窺戶，足不下樓。(1・5)

渾家指着樓前一棵椿樹道：明年此樹發芽，便盼着官人回也。(1・4)

暖雪等不及解完，慌忙檢了褲腰，跑出門外，叫住了瞎先生，撥轉腳頭一口氣跑上樓來，報知主母。(1・6)

10. 樓梯 (階段)

討他課錢，通陳過了，走下樓梯，聽他剖斷。(1・6)

到樓梯邊，吳山叫起屈來，被和尚儘力一推，望樓梯下面倒撞下來。(3・75)

陳大郎已自走上樓梯，伏在門邊多時了。(1・19)

到樓梯邊，吳山叫起屈來，被和尚儘力一推，望樓梯下面倒撞下來。(3・75)

這裏婆子捉個空，招着陳大郎一溜溜進門來，先引他在樓梯背後空處伏着。(1·18)

11. 門 (ドア)

薛婆蓬着頭，正在天井裏揀珠子，聽得敲門，一頭收過珠包，一頭問道：(1·8)

才聽說出‘徽州陳’三字，慌忙開門請進，道：(2·56)

今日娶過門來，果然嬌姿艷質，說起來，比他兩箇姐兒加倍標致。(1·3)

又附耳道：送到時，你只在門外等候，省得兩下礙眼，不好交談。(2·45)

12. 門口 (入口)

王婆徑過來酒店門口，揭那青布簾，入來見了他弟兄兩個，道：(15·223)

13. 牆 (壁)

只見土牆上缺了一角，已知爬牆去了。(21·313)

劄問了去處，奔至郭外，望見山林前新築一所土牆，牆外有數十人，面面相覷，各有驚異之狀。(16·244)

楊思溫道：多是後門。沿牆且行數十步，牆邊只有一家，見一個老兒在里面打絲綫，向前唱喏道：(24·373)

至第四日，那女子已不見了，只見土牆上題詩四句，道是：(13·195)

14. 牆壁 (壁)

水上一橋，橋上列花石欄干，宮殿上蓋琉璃瓦，兩廊下皆搗紅泥牆壁。(34·506)

不喫也罷，纔喫下時，覺得天在下，地在上，牆壁都團團轉動，頭重脚輕，站立不住。(40·614)

15. 院子 (中庭)

他家在大相國寺後面院子裏住。(36·540)

玉英怕不穩便，商量割東邊院子另住。(12·184)

着領舊布衫，手把着金絲罐，直走去大相國寺後院子裏。(36·541)

16. 住處 (住所)

耆卿問了住處，徑來相訪。(12·178)

前次上元夜韓國夫人來此飲酒，不知你識韓國夫人住處麼？(24·371)

訪問小兒住處，並言無有，源心快快而返。(30·445)

上面莫是桃花莊，我那妹夫張公住處？(33·497)

C. 『古今小説』にないもの

辦公室 (事務室)、博物館 (博物館)、操場 (運動場)、廁所 (便所)、茶館 (茶館)、窗戶 (窓)、廚房 (台所)、地點 (地点)、地址 (所在地)、電影院 (映画館)、動物園 (動物園)、房頂 (屋根)、房間 (部屋)、公園 (公園)、廣場 (広場)、會場 (会場)、會客室 (応接室)、教室 (教室)、窖 (穴倉)、俱樂部 (クラブ)、炕 (オンドル)、客廳 (客間)、理發館 (床屋)、禮堂 (講堂)、旅館 (旅館)、旅社 (旅館)、人家兒 (人家)、商場 (マーケット)、食堂 (食堂)、宿舍 (宿舍)、通訊處 (連絡先)、圖書館 (図書館)、文化館 (文化会館)、屋子 (部屋)、戲院 (劇場)、煙筒 (煙突)、運動場 (運動場)、浴室 (浴室)、澡堂 (風呂台)、展覽會 (展覽会)、柱子 (柱)、走廊 (廊下)、游泳池 (プ

ール)

参考文献

- 古今小説 許政揚校訂 人民文學出版社 1958年
漢語大詞典 羅竹風 漢語大詞典出版社 1989年
近代漢語詞典 許少峰 團結出版社 1997年
近代漢語大詞典 許少峰 中華書局 2008年
近代漢語詞典 高文達 知識出版社 1992年
中國古典小説用語詞典 田宋堯 出版事業公司 民國74年
宋元語言詞典 龍潛安 上海辭書出版社 1985年
小説詞語匯釋 陸澹安 上海古籍出版社 1979年
現代漢語詞典 (第6版) 商務印書館 2012年
國語詞典 (節本) 臺灣商務印書館 民國58年
普通話三千常用詞表 (增訂本) 鄭林曦 文字改革出版社 1987年
漢語8000詞詞典 北京語言文化大學出版社 2000年
現代漢語常用詞用法詞典 北京語言學院出版社 1995年
漢語拼音詞彙 語言出版社 1991年
中國語大辭典 大東文化大學中國語大辭典編纂室 角川書店 平成6年
現代中國語辭典 香坂順一 光生館 昭和59年
【水滸】語彙と現代語 香坂順一 光生館 1995年
白話喻世明言賞析 葉桂剛 王貴元 中央廣播電視大學出版社 1991年

(2015年9月29日受理)